

大規模サイト向け SEO ツール GinzaMetrics、検索結果 (SERPs) 上のユニバーサル検索枠のトレンドを可視化する「SERP Feature Trend チャート」をリリース

概要：

Ginzamarkets 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：レイ・グリセルファー）が提供する大規模サイト向け SEO ツール『GinzaMetrics』は、1月19日、検索面のユニバーサル検索枠のトレンドを可視化する「SERP Feature Trend チャート」をリリースいたしました。これにより、画像、地図、ニュース等のユニバーサル検索の表示状況の変化を視覚的に把握できるようになります。

機能リリースの背景：

キーワードの検索結果画面 (SERPs) には、オーガニック検索結果以外に、リスティング広告や画像、動画、地図、ニュース、商品、地域情報等のユニバーサル検索が表示されています。

Google や Yahoo!などの検索エンジンは、検索ユーザーにより適した結果を提供するべく、広告やユニバーサル検索の表示比率や表示要素の最適化を進めていると思われます。

特に昨今は、ユニバーサル検索の中でも、ナレッジパネルやアンサーボックスといった検索機能強化に伴い、オーガニック検索の順位だけを見て、SEO 対策を進めることの課題が顕在化してきています。

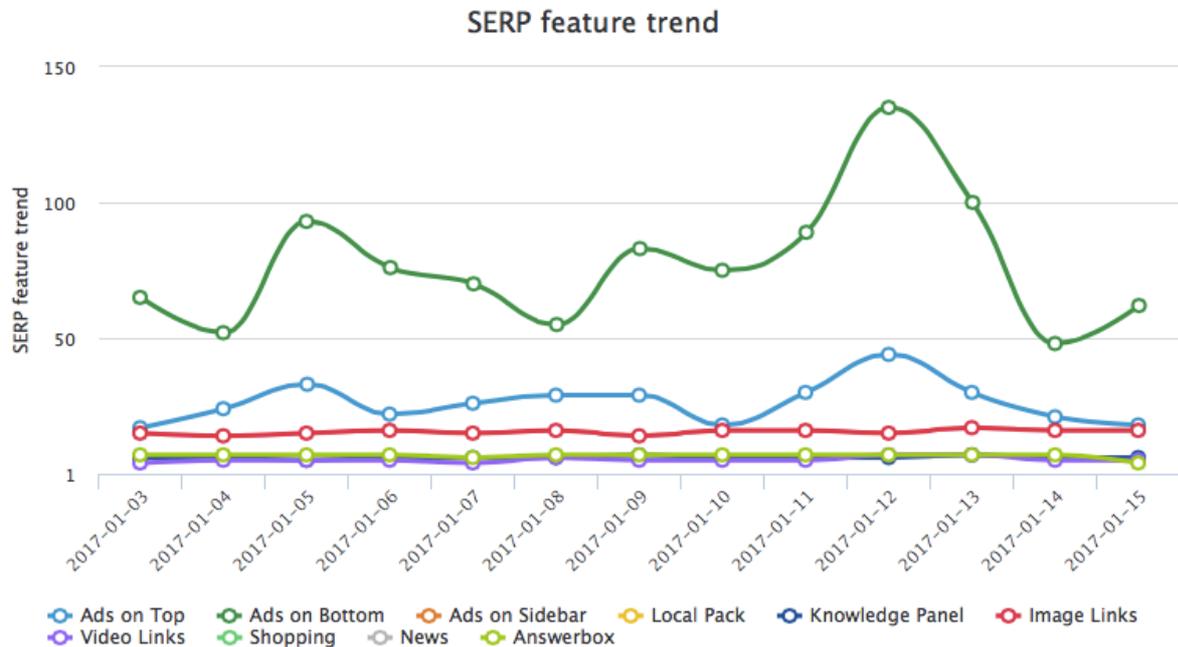
例えば、オーガニック検索で上位表示をしても、トラフィックが伸びない、また順位が落ちていないのに CTR が低下するという状況も生じています。

オーガニック検索の順位だけでなく、ユニバーサル検索や広告の表示比率のトレンドデータは、キーワードごとのオーガニック検索、ユニバーサル検索、広告、それぞれの役割に即した SEO 施策を進める上で、必要な情報となりました。

そこで、大規模サイト向け SEO ツール『GinzaMetrics』は、検索結果 (SERPs) 上のユニバーサル検索枠のトレンドを可視化する「SERP Feature Trend チャート」をリリースいたしました。

機能概要：

モニタリングキーワードにおける広告 (リスティング、商品) やユニバーサル検索の表示状況をチャートで可視化します。本チャートは、任意に設定したキーワードグループ別 (エリア、カテゴリー等)、Google/Yahoo!の検索エンジン別、PC/スマホのデバイス別に絞り込んで表示することもできるため、セグメント毎の SEO 施策検討にも活用いただけます。



<GinzaMetrics SERP Feature Trend チャート>

今後も、大規模サイトの SEO モニタリング業務を行う上で、より有効なサービスに発展させるべく開発を進めていく所存です。

Ginzamarkets 株式会社について

アメリカのサンフランシスコに本拠を置くスタートアップで、大規模サイト向け SEO ツール『GinzaMetrics』を開発／販売しています。GinzaMetrics は世界 65 カ国以上に対応し、グローバル企業、大手 EC サイト、メディアサイト、リードジェネレーションサイト、代理店等で利用されています。アメリカで最も注目されるスタートアップ特化ベンチャーキャピタルである YCombinator のプログラムに参加（2010 年夏）し、資金提供を受けています。

社名：Ginzamarkets（ギンザマーケット）株式会社

代表：代表取締役社長 レイ・グリセルフーパー

所在地：〒105-0022 東京都港区海岸 1-2-3 汐留芝離宮ビルディング 21F

設立：2010 年 5 月（アメリカ法人）

事業内容：マーケティング SaaS の GinzaMetrics

URL：<http://ginzametrics.jp/>

本リリースに関するお問い合わせ

Ginzamarkets 株式会社 担当：野口

E-mail：hello-jp@ginzametrics.com

以上